

## 第22回

# 人権ショートレター 入賞作品 発表



### 小・中学生の部

#### 最優秀賞 「おばあちゃんへ～そのまま大丈夫だよ～」

「大丈夫」そう言っていていつも僕をはげましてくれたのがおばあちゃんだ。今は、半身不随になり車椅子での生活。出来ないことが増え自信をなくしている。だから今度は僕が言いたい。「おばあちゃん、大丈夫だよ」って。

#### 優秀賞 「表現の自由」

「表現の自由」それは素晴らしいものだ。様々な思いや考えを誰かに伝えることができる。ただ「自由」は、限度のない「自由」ではない。限度からはみ出した「自由」は、誰かの人権を傷つけることを知ってほしい。

#### 優秀賞 「誰もが持っているナイフ」

その言葉、その投稿大丈夫？よくSNSのコメントで良くない言葉を見かける。そう誹謗中傷だ。今誰もがもっているスマートフォン便利で楽しいものだが使い方を誤れば、人を簡単に傷つけることを忘れないでほしい。

#### 優秀賞 「ぼくができない事で、できる事」

中学生になって僕が自閉症だと教えてもらいました。得意な事と不得意な事の差が人より大きいと知りました。僕のできない事は助けてもらいながら、僕のできる事は他の誰か、できない人の役に立ちたいと思いました。

#### 佳作

「言葉、考えて」  
「みんないっしょ」  
「ゆずる勇気」  
「いじめという犯罪をなくすため」  
「思いやりの心」

### 高校・一般の部

人間らしく生きること、差別や偏見に対して感じたこと、お互いの個性を認め合うことなど、「人権」を大切にする気持ちを手紙に…。全国から2,564通の応募がありました。入賞作品を紹介します。

(佳作はタイトルのみ)

問合せ＝人権施策推進課(内線332)

#### 最優秀賞 「レッテルを貼らない」

病気や障害、それもその人の個性であり、その人の一部。勝手に「かわいそう」とか「何も出来ない」とか、決めつけてレッテルを貼ってはいけません。その人が今出来ていることや強みに目を向けることが大事なんだ。

#### 優秀賞 「福祉とは？」

「福祉とは？」と聞かれて戸惑った。「『ふだんのくらしのしあわせ』を守ること」と、車いすの君は言った。「頭文字を並べるとふくしになる」と。普段の暮らしを当たり前のように過ごす自分を恥じた。

#### 優秀賞 「無意識の偏見を点検」

「ブラジル出身だからサッカー上手やろ?」「年頃やし、そろそろ結婚せんとなあ」ささいな言葉が人の心に刺さる。無意識の刷り込み、偏見が差別を生む。人権のフィルターを点検し、心の通う会話で絆を深めよう。

#### 優秀賞 「名前を出しても言えますか？」

オンライン、匿名でやりとりをした話し合い。発言しやすくてたくさん意見が出たけれど、厳しい批判や皮肉、言われた人が悲しくなるような内容も飛び交った。その言葉、あなたの名前を出しても言えますか？

#### 佳作

「本当の意味での多様性」  
「あなたの左手」  
「知ることから始まる」  
「今じゃなきゃ、ダメなんだ」  
「娘から妻へ」